

## 綾とおる議員 9月 議会報告

### 令和3年 第3回定例会 (9月14~15日)

♥ 一般質問・令和2年度決算審査・条例改正・補正予算など

#### 新型コロナ感染対策事業

##### 診療所でPCR検査

<補正予算> PCR 検査機器(NEAR法)

2台購入… 327万4千円

\*検体採取から30分ほどで判定できます。

\*症状のある方に、医師の判断で実施します。

\*本村・式根島診療所に各1台配備されます。

##### 「指定管理者制度」の導入へ条例新設

村が設置する「公の施設」を\*指定管理者に、

管理させる条例。\*指定管理者⇒法人、団体

\*指定管理者の指定は議会で議決します。



(写真上 久田巻農地の現状)

##### 久田巻農地土砂災害復旧事業

<補正予算> 2000万円

\*農地の土砂撤去、支柱・ネット復旧

(道路・排水路は完了済み)

\*10月下旬工事契約予定

#### <一般質問> 地球温暖化問題 再生可能エネルギーの活用、具体化を!

<綾議員> 異常な豪雨、台風、猛暑、熱波等々、地球の温暖化がもたらす気候危機が世界で大問題になっている。原因となっている二酸化炭素の排出量を、今後10年足らずのうちに半分近くまで減らせるかどうか、人類の未来がかかっていると警告が発せられている。温室効果ガスの排出削減の重要性、緊急性の基本的認識を問う。「新島村第3次総合計画」にはどのように位置づけられているか。新島村の目標はどのようなものか。

<村長答弁> 地球温暖化の原因となる、温室効果ガスの排出削減等の環境保全対策に取り組むことは行政の責務と考える。村単独での取り組みは、知見・財源等難しい。「地球温暖化防止と自然エネルギーの活用」に位置づけ、CO2削減を目指す。現在、具体化されている計画はありません。





島外受診の交通費助成制度の充実求める

住民みんなを対象にした制度にしてください!

一般質問(以下一問一答で取り上げました。)

## 綾とおる議員～村民のいのち守る願い実現へ

「助かるよ」「ありがたいことだ」と、住民から評価されています。残念なことに、スタートして3年もたつのに、「19歳から64歳の住民」(約1100人)が、助成対象から外されたままです。「命と健康にかかわる格差は何としても解消したい」と、今まで何回も、一般質問で取り上げ「すべての住民を対象とした制度にすべき」と求めてきました。



〈綾議員質問①〉 制度実施に至るまで、どう考え実施の決断に至ったのか。

〈村長答弁〉 住民の負担軽減となり、保健の向上、福祉の増進につながる重要な施策として決断し行っている事業です。

〈綾議員質問②〉 直近の議会での答弁では「見直すということは全員ということで、これは揺るぎないことだ」と答弁している。これまでの答弁で、「全ての住民を対象とした制度をめざす」ということは、間違いのないことだと確認できる。

〈村長答弁〉 全島民に与えてあげたい、というのが最終目標です。財政の問題があり、色々シミュレーションしたが難しい。進めていきたいが進まず、歯がゆい思いでジレンマを感じている。

〈綾議員質問③〉 目指す改善の方向は、「全住民を対象とした制度」であることが確認できた。年齢による制限は、スタート時から厳しく指摘されてきた。これ以上ズルズルと引き延ばすわけにはいかない。段階的に対象年齢を拡大するなど、具体的な検討を開始すべきだ。

〈村長答弁〉 台風災害、コロナと続き大変な思いをしてきた。確かに急ぎたいが、今低迷している。是非、わかっていただきたい。

〈綾議員質問④〉 当時の議員の質問に、「1回やってみて、不都合があれば直していく」としている。村長を先頭に、庁内で具体的な検討を求めた。再度、答弁を。〈村長答弁〉 庁内で検討しているが、先立つものがない。それでは何もできないので様々な考えを検討している。住民の声は、「少しでも負担してほしい、もっと年齢層を下げてください」というものだと思う。

〈綾議員質問⑤〉 医療格差、離島格差を解消するうえで、東京都の財政支援は不可欠だ。町村会で議論し、島よ選出都議をはじめ、都議会各会派にも要請すべきだ。

〈村長答弁〉 各会派に出向いて、要望していくことが重要だと思う。「島はこういう状況だから絶対必要です」と理解していただけるよう働きかけていきます。

国民犠牲の自公政権に厳しい審判を!!

市民と野党の共同で悪政にストップ!

いのちとくらし守る新しい日本を!

しんぶん赤旗をお読みください

日刊赤旗 3497円・日曜版・月930円